

住まいのウチイケを視察するロシア・サハリン州の行政機関の職員ら



省エネ住宅 ロシアにPR

サハリン州の職員ら ▶▶ 室蘭の「ウチイケ」視察

ロシア・サハリン州の行政機関でエネルギー施策に携わる職員らが7日、室蘭市八丁平の住宅メーカー「住まいのウチイケ」を訪れ、一般的なエアコン1台で住宅1棟すべての空調を管理できるシステムの実証実験の様子などを視察した。

道が、道内の寒冷地向け省エネ技術をロシア極東にPRする事業の一環。サハリン州などの行政機関や建設会社から11人が招かれており、うち3人が実証実験が行われている同社のモデルハウスを見

学した。

実証実験中のシステムは、一般的なエアコン1台を箱に入れて屋内に設置し、この中でつくった暖気や冷気を管で送って部屋や廊下などの吹き出し口から出す仕組み。サハリン州から来たロシア・エネルギー省職員のリュボーフ・クラフツォーワさんは「サハリンでは一戸建てを建てようとしている人が多く、太陽光など自然エネルギーに対する関心も高い。このような技術は受け入れられる」と話した。
(片岡麻衣子)